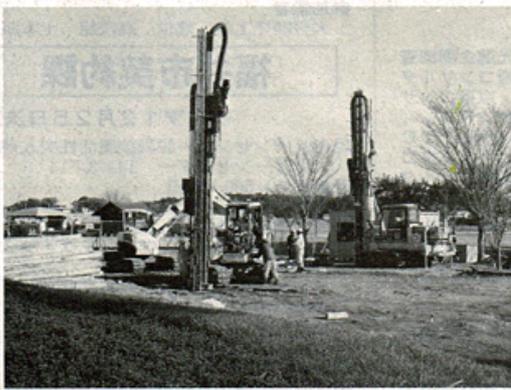


丸太打設で液状化対策



飛鳥建設と兼松目産農 栗原神崎町の天の川公園 林、昭和マテリアルの3社が共同開発した「丸太打設液状化対策&カーボンストック(LP-LiC)工法」の実証施工現場見学会がこのほど、千

CO₂削減や間伐材活用も

千葉県で福井高専らが技術的助言

飛鳥建設ら

伐材の丸太を打設し、砂地盤を密実化して液状化対策を行う。また、木材のカーボンストック効果(炭素を長期間貯蔵して)により、大気中の温室効果ガスを削減する効果により、地球温暖化防止対策にもつながると期待される。

樹木は、大気中から吸収した二酸化炭素を内部に固定することから、樹木が成長した分だけCO₂が減る。したがって、木材を燃焼させず、住宅や家具に長期間使用していれば、地球全体の木材量が増え、CO₂の削減につながる。こうした木材の利用先として土木工事が考えられ、具体的には液状化対策や地下水位が浅い地盤を対象とした基礎杭、地盤改良材に丸太が適しているという。



河南税理士

ほっこりするためのなるお茶会

今回の実証施工が行われた地点は、利根川の旧河道で、東日本大震災で9m付近よりも深い微細砂層では1987年と2011年の2つの地震でも液状化が確認されていない。それより浅い所に特に深度3〜4m付近の細砂層が最も液状化する危険度が高いと判定された。対象面積約680平方メートルが改良するため、中深さ5mまで長さ4mの丸太1600本を打設。丸太の総材積は約125立方メートルとなる。見学会には官民合わせて約60人が参加した。

女性の起業・開業をサポート

起業家の交流と情報交換の場になるよう毎月定期的に行っているもので、今回は講師に河南税理士は、同会について「縁と縁をつなぐ橋渡しの場であり、ためになる話も聞ける。将来のための人脈ができる」とPR。実際に同会で知り合った同士がコラボレーションによってイベントを開催するなど、仕事を開業するなどのシナジーも好評だ。詳細は「お招き」を講師に



雑貨専門店「フランフラン」に出資
49%取得 セブン&アイ
セブン&アイ・ホールを運営するパルス(東京)と資本提携すると発表し、フランフランは25日、雑貨と資本金を調達すると発表した。セブン&アイがパルス